

セブ州における「包括的学校安全」フレームワークに基づく学校防災支援

 **柱1：安全な学校施設**

 **柱2：学校防災管理**
期間：2017年4月～2020年3月（現行事業）

 **柱3：リスク削減・防災教育**
期間：2014年11月～2017年3月

法整備やマニュアル化が進んでいる学校防災管理の実践を確立し、学校が防災管理を進められることを目指す支援事業

災害の教訓をもとに、正規科目の中での防災の主流化を目指す事業

- ① 学校を指導するチームの育成
- ② 日常安全点検のモデル確立
- ③ 非常時の対応体制構築モデル確立
- ④ 学校と地域の合同防災訓練モデル確立
- ⑤ 確立されたモデルの他地域への共有

- ① 多機関間の防災教育ネットワーク確立
- ② 防災教育指導員の育成
- ③ 防災教育モデルの確立
- ④ 確立されたモデルの他地域への共有



①日本の事例に基づく指導員育成

①訪日研修で訓練の重要性を共有

②安全点検のポイントを共有

④セブの取り組みを全国に発信

①防災教育の委員会設立

②防災教育充実化について共有

③防災教育の視察、知見共有

※赤字は兵庫県教育委員会専門家の現地派遣や現地教育省職員の訪日研修での活動



- 阪神・淡路大震災後の学校防災の経験
- 地域との連携の重視
- 世界で学校防災支援を展開する震災・学校支援チーム（EARTH）



兵庫県とSEEDS Asiaの経験・知見をフィリピンに



- 学校防災・コミュニティ防災における国際協力の実績
- 現地チームを設置し、フィリピン国教育省との密な調整・事業推進
- 防災分野の学术界との連携